

舌下療法について（スギ）錠剤 9940

今まで注射でのみ行われていた減感作療法に、薬剤を口の中から摂取するという方法が加わりました。これを「舌下療法」と呼びます。

スギ花粉の治療薬を「シダキュア」といいます。この薬剤はブタクサ、ヒノキなど秋に飛んでいるものやダニやハウスダストには一切効きません。ただ、ヒノキはスギと同じ分類に入るので、ヒノキに関してはある程度期待はできます。**保存も室温で構いません。**

治療を開始する時期ですが、スギ花粉が飛んでいる**2月～4月の開始はできません**。一方、すでに治療を開始されている方はこの時期も継続して服用してください。

★★★処方は初回が14日分までとなります。それ以降は28日分の処方が可能です ★★★

実際の使い方ですが、薬剤は右記の2種類に分かれています。期間ごとに緑色の包装→青色の包装の薬剤を順番で使っていきます。治療の目安はだいたい3年程度です。**長期間休薬（1ヶ月以上）をしてしまうと最初からやり直しになります**のでご注意ください。



服用方法は、**舌の下に薬剤を入れ1分間保持**してから飲み込んでください。**1分間保持**するのは口腔粘膜から吸収させるためです。この段階で口の中が赤くなったり、腫れたりすることがあります。また**飲み込んだ後、5分間はうがいや飲食は出来ません**。



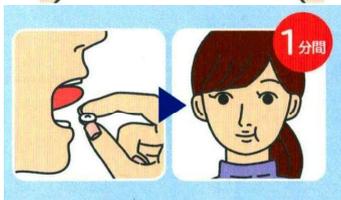
吸湿性があるので、乾いた指で扱ってください。ミシン目にそってしっかり折り曲げて切り離してください。



裏面の「はがす」部分からはがしてください。薬剤がやわらかく、割れることがありますのでシートをはがさずに取り出すことはしないでください。



爪を立てずに指の腹で下から押して、薬剤を取り出してください。欠けたり割れたりした場合、それらも一緒に服用してください。



舌の下に薬剤を置き、**1分間保持**した後、飲み込んでください。**舌の下に置くとすぐ唾液で溶けてなくなりますが、唾液はすぐに飲み込まず、1分間舌の下に保持**してください



その後**5分間は、うがいや飲食をしない**でください。

治療中に花粉症の症状が出て他の薬を飲むことや、治療中の妊娠も問題ありません。

最後に、この治療はアレルギーをお持ちの方の中にアレルギーを入れるわけですから、メーカーはショック症状が起きることを一番心配しています。そのため初回は院内で服用の上、服用後20分間は院内にいて頂いております。さらにショック等で倒れてしまった時にどこの誰かがわかるように記入いただくカードを一緒にお渡ししています。

以上が減感作の舌下免疫療法についての説明です。
お読みいただいて、ご理解の上治療を希望されますか？

新しく「舌下療法」に「ダニ」アレルギーが加わりました。

まず最初に、これはあくまでダニアレルギーによる鼻炎の治療です。ハウスダストの場合は、大半はダニの死骸や糞と言われているので効果は期待はできると思います。

薬は鳥居薬品の「ミティキュア」、シオノギ製薬の「アシテア」の2種類があります。治療を開始する時期は特に選びません。スギ花粉の舌下療法をされている方でも併用は可能です。

★★★ 処方は初回が14日分までとなります。それ以降は28日分の処方が可能です ★★★

実際の使い方ですが、「ミティキュア」について説明します。スギに対する舌下療法「シダキュア」とほぼ同じです。シダキュアの説明も必ずお読みください。

期間ごとに黄色の包装→ピンクの包装の薬剤の順番で使っていきます。



シダトレンと異なる点は錠剤のため、常温での保存となります

服用方法は、1日1回、薬剤を舌の下に入れ、1分間保持してから飲み込んでください。

服用後に口の中が赤くなったり、腫れたりすることがあります。

服用の際の費用は3割負担の方では自己負担額が1日約130円程度です

ミティキュアの服用手順

服用する直前にシートをはがし、乾いた指で爪を立てずにお薬を取り出してください。舌の下にお薬を置き、1分間保持した後、飲み込みます。

<p>1</p> <p>ミシン目にそって、しっかりと折り曲げ、切り離してください。</p>	<p>4</p> <p>舌の下にお薬を置き、1分間保持した後、飲み込んでください。舌の下に置くとき唾液で溶けてなくなりますが、唾液はすぐに飲み込まず、1分間舌の下に保持してください。</p>
<p>2</p> <p>うら面の「はがす」部分からはがしてください。お薬がやわらかく、割れることがあるため、シートをはがさずに押し出さないでください。</p>	<p>5</p> <p>その後5分間は、うがいや飲食をしないでください。</p>
<p>3</p> <p>爪を立てずに指の腹で下から押して、お薬を取り出してください。欠けたり割れたりした場合、それらも一緒に服用してください。</p>	

以上が減感作の舌下免疫療法についての説明です。お読みいただいて、ご理解の上治療を希望されますか？